

## 第44回風力エネルギー利用シンポジウム開催要項

- 名 称 : 第44回風力エネルギー利用シンポジウム
- 開催目的 : 風力エネルギーの利用や導入拡大に向かって国内外の最新状況と課題等について、その理解、促進を図ることを目的とする。
- 経緯・背景・内容 : 別紙1
- 開催日 : 令和4年12月1日(木)、2日(金)  
(1日目/依頼講演、2日目/一般研究発表)
- 1日目のプログラム : 別紙2(予定)
- 会 場 : 科学技術館(地下2階サイエンスホール・6階会議室) 及び オンライン
- 参加費 : 

正会員	20,000円
学生会員・一般学生	3,000円
協賛・後援団体所属	20,000円
一般	25,000円
- 参加者数 : 約300名 (予定)
- 主 催 : 一般社団法人日本風力エネルギー学会
- 協 賛(予定) : 一般社団法人日本小形風力発電協会、一般社団法人日本風力発電協会  
(五十音順)
- 後 援(予定) : 国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般財団法人新エネルギー財団、一般社団法人ターボ機械協会、公益財団法人日本科学技術振興財団、一般社団法人日本風工学会、一般社団法人日本太陽エネルギー学会、一般社団法人日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会(五十音順)
- 連絡先 : 〒102-0021 東京都千代田区外神田6-10-12 KENTビル4階  
一般社団法人日本風力エネルギー学会  
第44回風力エネルギー利用シンポジウム事務局 担当 木村 雅章  
TEL:03-6284-2310、FAX:03-6284-2320 E-mail:sympo@jwea.or.jp

## 別紙 1

経緯： 当会は、1973年の石油危機によって石油代替エネルギーの開発の必要性が高まったことを契機として1977年11月に設立された日本風力エネルギー協会をその前身としており、2017年には、創立40周年を迎えました。『風力エネルギー利用シンポジウム』は、1979年に第1回を開催以来、風力エネルギーの利用を広く社会に普及させることを目的に例年開催しています。

背景： 環境エネルギー問題は地球規模の社会的課題であり、国内外で低炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。我が国は2020年10月に2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言し、2021年6月には「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の実行計画が策定されました。洋上風力では主な取組みとして、①導入目標（2030年までに1,000万kW、2040年までに3,000万kW～4,500kW）を明示し、国内外の投資を呼び込む。②系統・港湾のインフラを計画的に整備する。③競争力を備えたサプライチェーンを形成する。④規制の総点検によって事業環境を改善する。⑤「技術開発ロードマップ」に基づいた実証を見据え、要素技術開発を加速することが策定されています。

2021年4月には「洋上風力の競争力強化に向けた官民会議」の第3回作業部会が開催され、洋上風力の開発促進に寄与することが期待されるとともに、事業環境を後押しする面から、政府では、2022年8月25日、有望な区域として整理していた「長崎県西海市江島沖」、「新潟県村上市及び胎内市沖」及び「秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖」について、再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定の案の公告及び縦覧を開始しました。

世界の風力発電導入量が2021年末に約8億3,700kWに達している一方、我が国の風力発電の導入量は2021年度末で約458万kWに留まっており今後大幅な導入拡大が望まれています。

内容： 本年度のシンポジウムは、このような状況を鑑み、第1日目の午前には、所轄官庁からの政策責任者による今後の方向性と風力エネルギーに係る最新情報についてご講演をいただきます。午後には、オフショア再生可能エネルギーのための英国有数の技術革新及び研究センターであるORE CatapultのDr. Kirsten Dyer氏による「ORE Catapultの風力研究開発について」の特別招待講演の後、「カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー利用とエネルギーシステムと風力」をテーマとして関係者からご講演をいただきます。さらに、学会関係者から人材育成と女性活躍への取り組み状況並びにJWEAの研究会の活動状況について発表いたします。第2日目は、一般研究発表の場として、例年通り風力エネルギーの高度利用および関連技術の新たな進展に関する学術論文の発表を行います。

今後、本シンポジウムが我が国の風力発電の技術進歩ならびに風力発電産業の活性化に寄与するものになることを心から希望し、皆様の参加と活発な議論を期待いたします。

## 第44回シンポジウム初日プログラム(案)

12月1日(木) 依頼講演、12月2日(金) 一般研究発表

依頼講演(司会: 本田 明弘 副会長)

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間(分)
	開会挨拶	三保谷 明 会長	9:30	9:35	5
1	参加者へのメッセージ	TBD	9:35	9:40	5
2	我が国の風力発電と促進政策について	資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 風力政策室長 石井 孝裕 氏	9:40	10:20	40
3	洋上風力発電に関する環境整備について	国土交通省 港湾局 海洋・環境課 海洋利用開発室 室長 加賀谷 俊和 氏	10:20	10:50	30
4	脱炭素社会の構築に向けた風力発電への期待	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 室長 松崎 裕司 氏	10:50	11:20	30
5	風力発電の安全に関する最近の動向について	経済産業省 電力安全課 再生可能エネルギー担当 課長補佐 日野 裕司 氏	11:20	11:50	30
6	NEDOにおける風力発電研究開発について	新エネルギー・産業技術総合開発機構 風力・海洋グループ 主任研究員 大和田 千鶴 氏	11:50	12:20	30

特別招待講演(司会: 小垣 哲也 副会長)

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間(分)
7	ORE Catapult の風力研究開発について	ORE Catapult Senior Research Materials Engineer Dr. Kirsten Dyer	13:30	14:00	30

テーマ1: カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー利用とエネルギーシステムと風力  
(司会: 今村 博 副会長)

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間(分)
8	カーボンニュートラルに向けたエネルギーシステムインテグレーションとスマートな持続的社會	東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門エネルギー工学連携研究センター 特任教授 荻本 和彦 氏	14:10	14:30	20
9	カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー大量導入のための電力システムの役割	東京電力パワーグリッド 取締役 岡本 浩 氏	14:30	14:50	20
10	カーボンニュートラルに向けた国際再生可能エネルギー機関(IRENA)の取り組みと世界の脱炭素の動向	International Renewable Energy Agency (IRENA) Senior Programme Officer, Power Sector Investment Planning 三ヶ田 麻美 氏	14:50	15:10	20
11	カーボンニュートラルに向けて～企業の動きと期待	東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 環境エネルギー科学特別部門客員准教授 松本 真由美 氏	15:10	15:30	20

テーマ2：学会の取組について（司会：今村 博 副会長）

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間 (分)
12	人材育成と女性活躍に関する JWEA の取組報告	植田 祐子 WG 長(WINC)	15:40	16:00	20
13	JWEA の研究会について	吉田 茂雄 委員長(佐賀大学)	16:00	16:10	10
14	垂直軸風車空力弾性解析技術研究会報告	原 豊 主査(鳥取大学)	16:10	16:30	20
15	風車運用寿命延長技術研究会報告	黒岩 隆夫 主査(海上技術安全研究所)	16:30	16:50	20
16	ウェイク研究会報告	内田 孝紀 主査(九州大学)	16:50	17:10	20
	閉会挨拶	本田 明弘 副会長	17:10	17:15	5

(参考) 特別招待講演・テーマ1 講師略歴

ご氏名	所属・役職	略歴
Dr. Kirsten Dyer	ORE Catapult・Senior Research・Materials Engineer	ORE カタパルトのすべての材料関連の研究を担当し、風力タービン ブレードエロージョンが専門。商用顧客テスト用の雨浸食試験装置、およびすべての雨浸食研究プロジェクトの技術的責任者。Siemens Gamesa で風車担当、BAE Systems で民間および軍用航空機を担当し、主に非金属材料の材料認定と生産活動のサポート経験を有する。ウェールズ大学スウォンジー校で材料工学の学位と博士号を取得。 ( <a href="https://ore.catapult.org.uk/people/dr-kirsten-dyer/">https://ore.catapult.org.uk/people/dr-kirsten-dyer/</a> )
荻本 和彦氏	東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門エネルギー工学連携研究センター・特任教授 特任教授	1956 年生まれ。東京大学工学部電気電子工学科卒業卒業後、電源開発株式会社において、電源・流通設備計画・解析、技術研究開発、設備保全業務高度化、技術戦略などに従事。
岡本 浩氏	東京電力パワーグリッド・取締役	東京電力パワーグリッド株式会社取締役副社長。1965 年東京生まれ。1993 年東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了、同年東京電力入社。主に電力系統に関わる技術開発や実務に従事。同社常務執行役経営技術戦略研究所長を経て、2017 年より現職。日本科学技術振興財団理事、国際大電力システム会議(CIGRE)本部執行委員 IEC 市場諮問評議会委員なども務める。
三ヶ田 麻美氏	International Renewable Energy Agency (IRENA) Power Sector Investment Planning・Senior Programme Officer	慶応義塾大学政策メディア研究科博士。エネルギーシステム分析を専門とし、世界各国のエネルギー長期計画策定支援に 20 年以上かかわる。2012 年より上級プログラムオフィサーとして国際再生可能エネルギー機関イノベーション・テクノロジーセンター勤務。
松本 真由美氏	東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 環境エネルギー科学特別部門・客員准教授	上智大学外国語学部卒業。東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構 環境エネルギー科学特別部門 客員准教授。専門は科学コミュニケーション、環境エネルギー政策論。研究テーマは、「エネルギーと地域社会との共存」、「エネルギー政策の国際比較」「企業の環境経営動向(ESG 投資、SDGs 等)」等、環境とエネルギーの視点から持続可能な社会のあり方を追求する。